

半田病院だより

第 155 号

「半田病院だより」は、半田病院ホームページ（<http://www.handa-city-hospital.jp/>）からもご覧いただけます。

半田病院広報部会

いきいき健康講座のご案内

半田病院では、地域の皆さんの健康支援、増進を目的として、「いきいき健康講座」を開催しています。毎月第2水曜日の午前中に、正面玄関ホールで看護師や薬剤師、検査技師等様々な職種で構成される「半田病院ヘルスプロモーションチーム」が行っています。

平成29年度開催予定講座

☆ 毎月第2水曜日 ☆

☆ 午前10時30分～（1時間程度） ☆

☆ 半田病院正面玄関ホール ☆

【日時】

4月12日

5月10日

6月14日

7月12日

8月9日

9月13日

10月11日

11月8日

12月13日

1月10日

2月14日

3月14日

【講座内容】

廃用症候群について

超音波検査について

応急処置について

認知症予防について

がん検診と緩和ケアについて

慢性閉塞性肺疾患について

放射線被ばくについて

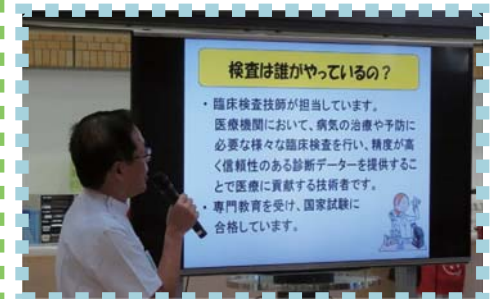
あなたは『健口』ですか

インフルエンザ・ノロ対策について

身近に潜む嚥下障害

介護保険について

お薬の上手な使い方



新時代を迎えた肺がん治療

医学のミニ知識

呼吸器内科 小川雅弘

がんは近年増加していて、2人に1人はがんになる時代ともいわれています。その中でも肺がんはがん死因の第1位であり、毎年70万人以上が肺がんで亡くなっています。実は肺がんはよくある病気なのです。また過去の高い喫煙率、高齢者の増加とともに今後も増加していくと予想されています。

早期発見で手術ができればよいのですが、再発した場合や手術ができない場合は基本的には「治る」ことはありません。再発、切除不能の肺がんの治療は抗がん剤治療となりますが、いわゆる抗がん剤治療は治癒を目指すのではなくできるだけ進行を遅らせる治療法となります。肺がんはもともと自覚症状が少なく、したがって治療しても改善するところがあまりありません。少なからず副作用はあるため、実感としては治療して悪くなったと感じられてしまうことも少なくありません。この辺りががんの治療の難しいところです。

肺がんは、発見された時点で7割ぐらいが手術できない状態であることが多く、また手術できても再発する場合もあり、治療の難しいがんといえます。また他のがんと比べても治療反応性が悪く、なかなか長期生存が望めません。しかし最近、様々な新しい抗がん剤が開発され、一部の人にはありますが3年以上の長期生存も期待できるようになってき

ました。

従来、抗がん剤といえば、がん細胞などの、増殖の盛んな細胞を阻害する殺細胞性の抗がん剤を指していました。がん治療の中心となる薬剤であるシスプラチンなどのプラチナ製剤と別の抗がん剤を加えた二剤併用療法が標準であったのです。現在でも基本は殺細胞性の抗がん剤ですが、**分子標的治療薬**、**免疫チェックポイント阻害剤**などの新しい治療薬が出てきました。

分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害剤は今までの抗がん剤と異なり、効果の現れ方も、副作用も異なります。特に副作用に関しては今までとは全く異なるものもあり注意が必要です。これら様々な薬が開発され肺がん治療も新時代に入ってきたと思われま

す。今後更なる進歩も期待できると思えます。ただいくら進歩したといっても、やはり肺がん治療は「治る」治療ではなく、新薬も「夢の薬」ではありません。根治不能の肺がんは治癒を望むのではなく、がんと付き合っていくことが重要です。

もちろん、肺がんにならないことが最も望ましいことであり、受動喫煙も含め、タバコの害より身を守るためにも禁煙が重要なのは言うまでもありません。



★ 分子標的治療薬 ★

がん細胞特定の標的に対し、特異的に作用する薬です。そのため高い治療効果と、低い副作用が期待できます。しかし実際には従来見られなかった副作用もあります。EGFR阻害剤であるイレッサは世界に先駆けて日本で承認された分子標的薬です。一部の人に驚異的な治療効果を示した半面、副作用などに対する十分な認識がないまま安易に投与されたケースがあり、間質性肺炎による死者が相次いで大きな社会問題にもなりました。その後いくつかのEGFR阻害剤が開発され、現在ではどのような人に効果が期待できるかがわかっています。非小細胞肺癌の約5%にALK融合遺伝子が認められ、そのような人たちに期待できる薬もあります。血管新生阻害剤といった腫瘍細胞の増殖に関わっている血管新生を阻害する薬もあります。

★ 免疫チェックポイント阻害剤 ★

最近発売された免疫チェックポイント阻害剤は、効果も十分に期待でき、各種のがんにおいても今後のがん治療の中心的役割を担っていきそうです。免疫チェックポイント阻害剤はがん細胞による免疫の抑制を解除し、がん細胞を排除する本来の免疫の働きを取り戻そうとする薬剤です。日本で開発されたオプジーボは一部の人たちに高い治療効果をもたらす反面、非常に高額であり現在マスクミでも大きく取り扱われています。



骨ドックのご案内

整形外科外来

半田病院では、平成29年6月から専門医と骨粗鬆症マネージャーによる骨ドックを開始します。
骨粗鬆症を心配に思われる方は、ぜひ受診していただき健康管理にお役立てください。



■骨ドックとは…

骨ドックでは、体を支える骨の状態確認を主体とする検査を行います。

これによって、高齢者の寝たきりの原因の約20%を占める「骨折・転倒、関節疾患」につながる骨粗鬆症を早期に発見することができます。

骨粗鬆症は閉経後の女性に多く見られますが、決して女性だけの病気ではなく男性にも見られます。

■検査内容およびご料金

①基本検査（税込 13,560 円）

- ・骨塩定量：骨量を測定します。最も信頼性が高いといわれているDXA法で行います。
- ・全脊椎撮影：背骨全体のレントゲン写真です。骨折の有無を調べます。
- ・血液検査（カルシウム、リン）：内分泌や骨代謝の異常の有無を調べます。

②オプション検査（税込 5,120 円）

- ・血液検査（骨代謝マーカー）：骨吸収と骨形成の状態を把握でき、将来の骨量減少や骨折リスクさらに適切な治療薬の判定に有用です。

※以下に該当する方は骨ドックを受けられません

- ・妊娠されている方、またはその可能性のある方
- ・骨ドック予定日の1週間以内にバリウム検査、造影検査、アイソトープ検査を受けられた方。

★上記以外でも、骨ドックが可能かどうか確認をする場合があります。

■検査結果の説明

検査実施の翌週の水曜日 15時より、整形外科専門医からの検査結果説明および骨粗鬆症マネージャーによる生活指導を行います。

■ご予約・お問い合わせ

骨ドックは毎週火と水曜日の15時から実施し、予約制（1日1名）です。
お電話にてお申し込みください。



受付時間 平日 14:00～16:30

電話番号 0569-22-9881 整形外科外来

※骨ドック予約時に、結果説明日も予約します。



火災避難訓練を実施しました。

病棟での火災発生を想定した避難誘導訓練を実施しました。今回の訓練では、深夜に火災が発生したことを想定し、夜勤帯に勤務するスタッフのみで対応しました。



発火場所を確認し、消防署へ連絡



初期消火の準備



患者さんを安全な場所へ誘導・搬送



救助袋



消火器の使用方法の確認

● 半田病院の理念 ●

私たちは、良質な医療の提供を通じて地域社会に貢献します。

● 半田病院の基本方針 ●

1. 救急・がん・災害・周産期小児医療を含む急性期医療を提供し、基幹病院の役割を果たします。
2. 安全で適切な医療を提供します。
3. 地域の医療機関や介護施設等との連携を大切に、地域完結型の医療を提供します。
4. 教育・研修病院として豊かな人間性を有する医療人を育成します。
5. 常に健全な経営を意識して、安定した医療サービスを提供します。

● 患者の権利と責任 ●

半田病院は、十分な説明と同意に基づく高い信頼関係のもとで、患者の皆さんと病院が協力して安全な医療を行うために、「患者の権利と責任」について以下のことを確認します。（各項目抜粋）

1. 適切な医療を受ける権利
2. 医療内容について知る権利
3. 治療について自分で決定する権利
4. セカンドオピニオンを求める権利
5. プライバシーが保護される権利
6. 病院内及び社会のルールを遵守し、医療に参加・協力する責任
7. 診療に要する費用を負担する責任

半田市立半田病院 広報部会 (事務局 管理課)

〒475-8599 半田市東洋町2-29 / TEL (0569) 22-9881 / FAX (0569) 24-3253

Eメール byouin@city.handa.lg.jp / URL <http://www.handa-city-hospital.jp/>